

新疆ウイグル自治区の 人権問題を歴史から考える

令和4年度
平和啓発推進講演会

共催・尼崎市 ダイバーシティ推進課・大庄地域課・地域総合センター今北

■日時：令和4年10月14日(金)
午後3時30分～午後5時30分

■場所：地域総合センター今北

■講師：王 柯 先生
神戸大学名誉教授

■定員：先着50名

■受付：ダイバーシティ推進課まで
TEL 06-6489-6658
MAIL ama-welcome@city.amagasaki.hyogo.jp

◆講演内容

中国の新疆ウイグル自治区における人権問題について、日々、様々な報道がなされているが、その具体的な内容については、中国政府の報道統制もあり、情報が国外に出ず、状況が把握できていない。今回は、ウイグルの現状を歴史から学び、考える機会とする。

◆講師紹介

1956年生まれ、少年時代に新疆ウイグル自治区カシュガルで過ごした。中国政府文化省勤務を経て1988年来日、東京大学大学院修了、学術博士、1996年から神戸大学教員、2021年4月から神戸大学名誉教授。近現代中国の民族主義と民族問題を研究、『東トルキスタン共和国研究』（東大出版会）を始め著書多数。